

# 金木 だより

発行 青森県金木町役場 編集 企画室] e x r .

ことしこそ青色申告を  
 算上するの特典が、毎  
 日の帳簿を整理するに  
 よく、経営の合理化に  
 も役立つから、青色申  
 告は三月十五日までに  
 提出して、申請書と「青  
 色申告書」を添付して、  
 指導係の係をあたって  
 指導を受ける。税務署  
 又は、税理士会等でも  
 行なっています。

## 食糧を守る町民大会

### 六百人が氣勢を上げる

食糧管理制度を守る金木町民大会は二月八日、金木小学校で開かれました。  
 この大会は金木町と町内の農業団体などが共催で開いたもので、会場には「食糧堅持」を染めぬいたハチマキ姿の町民六百人が集まり、氣勢を上げました。  
 大会は午後一時から始まり、三上町長と成田農業委員長会長の挨拶

のあと、中村金木農協組合長が情勢報告を行いました。このあと議長団に中村農業委員長代理、脇神喜良市農協組合長、中谷(隣)川倉土地改良区理事の三人を選んで議事に入り、「食糧制度を堅持し、米麦の輸入を阻止しよう」など六項目の大会スローガンを確認し、生産者代表の小山内嘉一郎氏ら六人の各界代表から、「生産者に生産費と所得を補償し、消費者には、安定した食糧を供給する現行の食糧制度を守ることを政府のとるべき政策である。一致団結し、食糧堅持のためがんばろう」との発言がありました。さらに吉崎(忠)嘉瀬農協専務が「①食糧自給体制を確立すること②東北地



【食糧を守る町民大会】挨拶しているのは三上町長】

金木町の昭和四十四年の成人式は一月十五日、青年研修所で行なわれまし

た。式は三上町長、中村教育長の挨拶のあと、花田県議、原田町議会議長、小山内南中学校長、森弘大金木農場長、今教育委員長らが激励の言葉をおくり、嘉瀬の今法子(のりこ)さんが「大人と

### 二百七十六人が大人の仲間入り

#### 成人式



【成人式に出席した人々】

方の食糧基地としての発展を阻害しない政策をとること」の大会決議文を、今(久)町議会議長が朗読し、花田農協専務が、三上農協中央会長、原田町議会議長が激励の言葉を述べ、最後に大橋町議会議長の音頭で万歳を三唱し、大会は午後三時半に終わりました。  
 火の気一つない会場に集まった六百人の農民は、寒さにふるえながらも、終始真剣な表情で大会を見守り、食糧制度を守ることがいかに大切なものであるかをいっそう強く感じた様子でした。  
 金木町では今年大人の仲間入りしたのは二百七十六人で、男百十人、女六十六人となっています。このうち成人式に出席したのは男六十二人、女八十七人でした。

### 大会宣言

わが国における食糧問題はその需給圏が内地に局限されて以来20数年、漸くにして食糧確保の基礎的要件が達成され国内自給が実現したことは、国の施策と財政の大巾投入もさること乍ら農業技術の刮目すべき進歩と自然気象に支えられた生産者農民の真摯なる努力等の結晶である。  
 しかるに、米の需給緩和が殊更に喧伝され、国家財政の立場から農業および国民生活の現実を無視した制度改正がなされようとしている。  
 われわれはこのようなきびしい情勢のもとで開かれた本大会において現行食糧制度を堅持し、長期的食糧政策の樹立を決議した。  
 ここにわれわれは全町民一丸となって運動することを誓い、もって現行食糧制度を堅持せんとするものであることを宣言する。

昭和44年2月8日  
 食糧制度を守る金木町民大会

# へ設立区改土川田小

## 申請人決まる

### 年度内認可を目標

小田川土地改良事業の進展に即応して、統一した受人れ体制（土地改良区）の整備確立が必要とされているため、新たに小田川土地改良区を設立することになり、関係者とその準備作業に入りました。

金木町には現在、金

木、藤枝、川倉の三つの土地改良区がありますが、その関係面積は約六三八ヘクタールで、加入組合員はおよそ七〇〇人となっており、大半は二十余の任意水利組合への分散加入となっており、小田川土地改良事業によって生じる施設の維持管理や負担金の賦課徴収に不都合であることから、既設の土地改良区に關係のない地域で新たに一つの土地改良区を新設し、この新設された土地改良区と金木藤枝、川倉の三つの土地改良区を合併して金木町一本の土地改良区にする構想です。

土地改良区の設立は十五人以上の關係者が申請人となり、全關係者の三分の二以上の同意をとって県知事に設立の申請をして認可を受けるため前になつております。

新たに設立する小田川土地改良区の關係者はおよそ二二〇〇人と見られており、設立申請人は、各水利団体等から推せんのある方々の方々が決まっております。

〔申請人組織会〕



中村健司・白川兼五

郎・白川竹治・白川定道・吉田七郎・沢田茂太郎・白川千代作・石戸谷秀雄・津島源太郎・津島幸雄・工藤清蔵・加藤良成・白川嘉四太郎・白川政次郎・吉田由五郎・津島正次郎・吉田文昭・津島俊雄・津島嘉一郎・加藤早爾・前田礼之助・前田富美衛・木村金利・沢田茂・伊藤清慈・成田善蔵・嶋島茂作・嶋海豊吉・沢田由男・津田良治・小山内男治・平川久次郎・嶋海徳四郎・沢田幸八郎・今兵四郎・津田孫市・秋村柏太郎・山中熊四郎・古川角雄・古川嘉之助・今与之助・棟方兼夫・古川清石工門・新岡清士・葛西与助・古川市四郎・古川浅四郎・今豊成・黒川政太郎・米谷清・岡田孝一・桑田一生・今米五郎・棟方清八郎・藤本秀雄・伊丸岡政美

申請人は二月十八日役場で会議を開き、今後の日程を話し合った結果、二月二十八日設立申請の公告をし、三月始め頃から同意のとまりまじめに入り、三月末頃申請書を県へ提出することを決めました。

## 体力テストの実施 3月15日金高で

金木町体力づくり推進協議会（会長 三上町長）では三月十五日午後一時から金木高校体育館で壮年体力テストを行います。

このテストは三十歳から六十歳くらいまでの健康な壮年層の人びとを対象に、日常生活の基本となる体力を確かめて、健康に自信をもつて生活できるようにするために行なうものです。

## 所得税の申告は

三月十五日（土）まで

所得税の確定申告と、贈与税の申告は、どちらも三月十五日までです。申告期限が迫りますと、税務署の相談窓口も大変混雑し、申告について十分な相談ができない場合もありますから、早目に相談



## 税金の攻防戦

二月、三月は税金の申告シーズン。

できるだけ多く、できるだけ少なく、という気構えの二つの陣営がくりひろげる必死の攻防戦。

だが、そこには敵意はない。戦い終わると、満足げな顔、不満そうな顔の別はあるにしても、一様にホッとした表情で戦場を去る。

納める税金がみんなの幸せのために使われますようにと祈りながら……。

をして申告、納税を済ませてください。

また、所得税、贈与税の納税も三月十五日までですが、一度に納税できないときは、延期により分けて納税することもできますから早目に申告して納税の手続きをとることが必要です。

（五所川原税務署）

確定申告忘れずに

提出期限は  
3月15日



# 報酬の引き上げを答申

## 特別職報酬審議会

金木町特別職報酬等審議会（近藤元二会長）では二月十三日、役員会議室で会議を開き、町長から諮問されている三役及び町議会議員などの報酬について審議した結果、町長の給与を現在の月額九万九千から十一万五千円に、助役七万九千から九万五千円に、収入役六万九千から八万五千円に、固定資産評価員の報酬については、議長二万三千元から二万五千円に、副議長二万一千円から二万四千円に、議員二万二千円から二万三千円に、それぞれ引き上げるよう答申を出しました。また実施時期は昭和四十四年

四月一日からが適当であるとして

四月一日からが適当であるとして  
金木町の特別職の報酬は昭和四十一年四月に改訂されたとき現在に至っており、その間、物価の上昇、一般職の給与引き上げにより特別職の報酬と一般職の給与との間に不均衡が生じていることなどから、報酬の引き上げの動きがでていたものです。

町では、この答申を検討して、引き上げ額を決め、議会に提出することにしています。  
なお、北郡四町の特別職の報酬額は、つぎのとおりとなっています。

職名	町長	助役	収入役
町名			
板柳町	105,000	86,000	79,000
鶴田町	110,000	90,000	80,000
中里町	95,000	75,000	70,000
金木町	90,000	70,000	60,000

  

職名	議長	副議長	議員
町名			
板柳町	25,000	22,000	20,000
鶴田町	23,000	21,000	20,000
中里町	20,000	18,000	16,000
金木町	23,000	21,000	20,000

（昭和四十四年二月一日現在）

## 連絡協議会を結成

### 子ども会育成会

金木町子ども会育成会連絡協議会は二月十日午後一時から弘前相

互銀行金木支店二階で初会合を開き、横の連絡を強化するために連絡協議会を発足させました。

金木町には百以上の子ども会組織がありますが、横の連絡がとれていないため子ども会同志の活動内容もわからず、個々ばらばらに活動が行なわれてきました。このため早くから町内子ども会同志がお互いに話し合える場が要望されており、昨春秋に行なわれた金木町社会教育大会でも指摘されていたものです。

この日の協議会発足は初めてのため、役員選出と簡単な事業計画が話され、西北教育事務所池田主事が子ども会の意義について講演しました。役員氏名次の通りです。

会長 鳴海健吉、副会長 今正志、同 小山内嘉一郎、幹事 白川藤男、三上平次郎。

## 感電事故をなくしよう

雪で高圧線や変圧器などが、非常に接近しております。感電事故のないよう次のことに協力をお願いします。

- ① 電柱にのぼったり、電線や変圧器などにふれることは、絶対しないで下さい。
- ② 電柱の近くでのタコあげや、スキアそびはやめましょう。
- ③ 雪おろしのとき、頭の上や近くの電線に十分注意して下さい。また引込線を切らないように気をつけましょう。
- ④ 素人の電気修理は感電事故のもとです。必ず電力会社に連絡して、なおしてもらいましょう。
- ⑤ 切れた電線や、たれた電線を見たら、早速お近くの電力会社の事業所に連絡下さい。

（東北電力）

## 金木町土改区の総代選挙

三月十六日に実施

任期が切れたままになっていた金木町土地改良区（木立五郎理事長）の総代の選挙は三月十六日行なわれます。

第一選挙区（金木地区）は第一保育所で、第二選挙区（嘉瀬地区）は第三保育所で、投票時間はいずれも午前九時から午後一時までです。

選挙される総代の数は、第一選挙区が十八人、第二選挙区が二十二人です。

## 明るい出かせぎ促進月間

2月16日～3月15日

市町村の行なう催しに積極的に参加しましょう。

- ◎ **出かせぎは正しい手続きで。**  
出かせぎ先で、賃金不払いや、行方不明等いろいろの問題がおきていますが、このほとんどが、安定所や市町村を通さずに縁故や手配師等のあつて就労している方に多いのです。安心して留守を守れるよう、安定所や市町村出かせぎ相談所を通して、条件をハッキリさせて就職することです。  
**今年の出かせぎは**  
安定所や出かせぎ相談所の手を通して出かせぎましょう。  
「グループ」で明るい出かせぎをいたしましょう。
- ◎ **若い方は………常用就職でしあわせを！**  
将来のしあわせな生活を送るために、出かせぎでなく常用就職をしましょう。どこの事業所でも、みなさんのすぐれた若い力を常用として採用を望んでいます。（相談はいつでも安定所で）
- ◎ **日本万国博へ協力しましょう。**  
大阪で開かれる万国博覧会の会場工事・関連工事が、土木、型枠大工（ビル建設）を求めています。くわしいことは安定所または市町村の窓口へ。
- ◎ **家族みんながいつも一緒に………**  
**家族ぐるみの県外移転就職のおすすめ**  
出かせぎをやめて、思いきって他県へ移住し、そこで事業所へ家族ともども勤め、みんなが年中までつづけてくれる家族ぐるみの移転就職をおすすめします。  
今までに青森県内（昭和41年4月から）東京、神奈川、大阪などへ150世帯の方々が移転就職しています。収入（月の手取額）は本人一人だけの稼働では35,000～40,000円位、奥さんの場合は15,000円位です。住宅は、雇用促進住宅（2間、バス、トイレ付）、事業所の住宅の何れかが利用でき、家賃は2,000～4,000円位です。〔青森県・金木町〕

# 青少年 県民運動協議会

## 40人が意見交換

青少年育成県民運動推進研究協議会が二月二十四日午前十時から弘前相互銀行金木支店二階ホールで開かれました。

協議会には青少年育成県民会議副会長の武田澄江氏、県青年の家所長長谷川方氏、金木町青少年問題協議会長の三上武男氏をはじめ金木町の関係団体（役場、教育委員会、学校、PTA、子ども会、婦人会、青年団、体育協会など）の代表四十人が集まり、青少年育成運動組織の在り方、運動の進め方などについて活発な意見交換を行ないました。

協議会で出された主な意見は次の通りです。

① 青少年をトレーニングセンター

### 町内各学校の卒業式日程

- ◎三月二日（日）午前十時  
金木高等学校
- ◎三月十五日（土）午前十時  
金木南中学校
- ◎三月十七日（月）午前十時  
金木中学校
- ◎三月二十三日（日）  
午前 時 金木小学校・  
嘉瀬小学校
- ◎三月二十四日（月）  
午前 時 蒔田小学校・  
喜良市小学校・川倉小学校

（青年の家などに集団生活の訓練のため短期合宿させることなどを指す）に派遣するのは大きな効果があるが、経費の面から人員に限度があるので、なんとかならないものか。

② 青少年の健全育成には組織活動が大切であり、組織活動には指導者がせよ必要である。指導者養成にもっと力を入れるべきである。

③ 出稼ぎ、共稼ぎから起るいろいろな問題をもっと真剣に考えなければならぬ。

## 住宅金融公庫資金の

### 利用について

住宅金融公庫は住宅資金に悩んでいる人に長期低利の資金を貸付をしています。

ところが、金木町におけるこの資金の利用件数は北郡で最も少なく、昭和四十三年度において、板柳町五十三件、鶴田町十四件、中里町五件に対し、金木町はわずか二件よりありませんでした。

住宅資金に困っていないからだというのであれば、むしろ喜ぶべき現象ですが、困っているがからこの制度をよく知らないためにやむを得ず、高い金利の資金を利用

④ スポーツを通して、青少年の健全育成するという観点から、スポーツ少年団の結成、体協の発展等についても配慮しなければならぬ。

⑤ 青少年の非行防止をいくらか叫んでも、大人の姿勢、社会の環境が悪ければ効果があがらない。環境の整備、大人の教育も並行して進めるべきである。

⑥ 統計上からも青少年の非行が増加する傾向にあるが、関係者はこのことをもって危機感をもつて実感し、対策を講じなければならぬ。

⑦ PTAは学校に対する財政援助団体のような現状にあるか、本来の目的である子どもへの幸せ、教育効果の向上という使命を全うできるように皆んなでPTAのあり方を考え直してみよう。

## 軽油の免税申請の受付

三月七日まで

五所川原県税事務所では、農耕用軽油の第二次免税申請を次ぎのとおり受け付けます。

一、受付け期間 三月三日から七日まで

一、受付け場所 五所川原県税事務所

一、必要なもの①耕作証明書（農業委員会発行）②機械の所有証明書（販売店または役場発行）③ハンコ

一、その他くわしいことは役場税務課まで

## 戸籍の窓口

12月・1月届出分

### 生まれた人

- ☆繁田隆志（領一2男）旭ヶ丘団地
- ☆田中千秋（秋穂2女）蒔田
- ☆長内三佳子（誠三2女）寺町
- ☆川口友幸（正行長男）蒔田
- ☆三上洋寛（清久長男）神原
- ☆三瀧勝子（正行3女）川倉
- ☆白川 裕（健児2男）本町
- ☆田村 治（幹雄長男）川倉
- ☆津島信也（礼三2男）若野町
- ☆吉田隆寿（隆雄長男）蒔田
- ☆原田早苗（晴衛2女）藤枝
- ☆中西信子（直義2女）若松町
- ☆竹内留美（文夫長女）朝日町
- ☆其田洋明（秀幸長男）川倉
- ☆対馬正美（正則長男）若松町
- ☆黒川政義（国義長男）野崎
- ☆今 良幸（金雄3男）林町

### 死んだ人

- ★角田かね（七六）山道町
- ★中村与市（八三）朝日町
- ★棟方喜一郎（五八）川端町
- ★白川ハナ（六〇）沢部
- ★秋元忠蔵（七一）米町
- ★其田雄蔵（六六）川倉
- ★成田ソヨ（七七）田町
- ★芳賀兵四郎（八八）若松町
- ★田中たけ（七二）米町
- ★中西丈作（五五）昭和町
- ★泉谷ナリ（六四）川倉
- ★今 かの（七三）更生部落
- ★成田たか（八八）中柏木
- ★鳴海藤太郎（八三）下古町
- ★秋元万四郎（六三）下鍛冶町
- ★吉崎清治（三五）新堤町
- ★柳引イソ（六八）下派立